

壬生町
1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワーク等のICT環境を活用して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るとともに、主体的・対話的で深い学びがより達成できるよう授業改善に取り組むことで、児童生徒自身が学習形態や学習方法を選択し、自分自身の特性や理解度、進度に合わせ学ぶような、児童生徒が中心となった学びの姿を目指す。

2. GIGA第1期の総括

令和2年度において1人1台端末及び通信ネットワーク環境の整備を行うとともにICTの活用を推進することで、一定の授業改善は図られた。導入当初において回線速度が不十分であるため、動作遅延や同時接続ができないといった問題が発生した。そのため令和3年度に10G回線を導入し、回線速度の改善を図り、現在では快適なネットワーク環境を実現できている。

3. 1人1台端末の利活用方策

途切れなく端末を利活用できるよう、共同調達により計画的に端末を整備・更新し、ICT環境を維持した上で、以下の点に取り組む。

(端末の積極的活用)

- ・端末の日常的な利活用に係るICT研修の充実を図り、「教育DXに係る当面のKPI」の「1人1台端末を週3回以上活用する学校の率」に示されている目標値を目指していく。

(個別最適・協働的な学びの充実)

- ・リーディングDXスクール事業を始めとした端末活用事例の横展開及び活用開始に係る支援を実施するとともに、「教育DXに係る当面のKPI」の「児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率」に示されている目標値を目指していく。

(学びの保障)

- ・端末活用による、いじめ・自殺・不登校等の未然防止、早期把握、早期対応に向けた児童生徒の心身の状況把握や教育相談の充実、児童生徒の障がいの状況や特性に応じた支援や合理的配慮の充実、相当の期間学校を欠席する児童生徒への教育機会の確保、日本語指導が必要な児童生徒の教育的ニーズを踏まえたデジタル教材の活用など、学びの保障に係る対応を推進していく。「教育DXに係る当面のKPI」の「希望する不登校児童生徒への端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の率」に示されている目標値を目指していく。